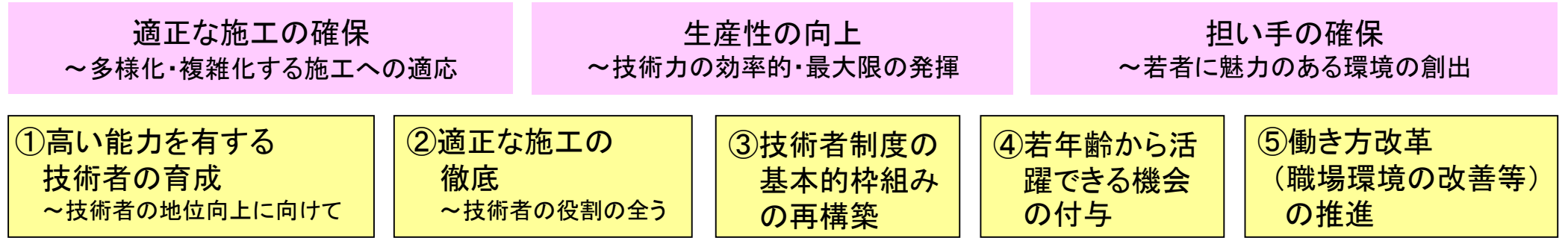


# 検討会の位置づけについて

## ●「適正な施工確保のための技術者制度検討会」における施策の方向性（H29とりまとめ）【前期検討会】



## ●適正な施工確保のための技術者制度検討会（第2期）

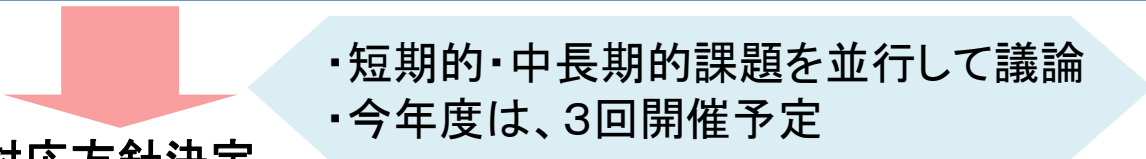
短期的課題

中長期的課題

技術者制度の見直し方針（R4.5とりまとめ）  
（ICTを活用した兼任、試験制度の見直し）

技術者制度全体の枠組みと併せて検討が  
必要な中長期的な課題についても  
短期的な課題と平行して議論

R5.12～



○令和5年度中に、対応方針決定

早期に実現を目指す施策の具体化に向けた検討  
（企業集団制度の合理化、働き方改革の推進への対応）

○令和6年度中を目途に、方向性のとりまとめ

中長期的な課題への対応の方向性

# 検討議題(案)

## 【早期に検討すべき短期的な課題】 → 令和5年度中の結論を目指す

担い手不足や時間外労働上限規制の適用を踏まえ、働き方改革・生産性向上に資する制度見直し等について、早期の検討が必要。

### ○企業集団制度の合理化(前期とりまとめ⑤5)「企業集団に関する技術者の有効活用」)

- ・ 連結子会社間、親会社と持分法適用会社間の在席出向の取り扱い

### ○働き方改革の推進への対応(前期とりまとめ⑤「働き方改革(職場環境の改善等)の推進」)

- ・ 監理技術者等の専任の取り扱いの明確化(休暇取得や遠隔施工管理の観点)
- ・ 監理技術者等を支援する者の配置(バックオフィス等による支援の観点)

## 【中長期的な課題※】 → 令和6年度中までに、一定の方向性(方針)の整理を目指す

### ○専任要件の更なる合理化・あり方等の検討(元請けと下請けに混在する主任技術者を区分の再整理含む)

### ○工事経験の見える化の検討(難易度の高い工事等の施工管理が、より高い技術を有する者によりなされる方策)

### ○悪質な不正行為に対する技術者への罰則規定の検討

### ○主任技術者の確認について、第三者機関による統一確認方法の検討

### ○対応する「施工管理技士」がない業種についての検討(機械器具設置工事業等)

●第5回(12月22日(本日))

- ・今回の検討会の位置づけ(報告)
- ・技術者制度の見直し方針(R4.5)の対応状況等(報告)
- ・短期的な課題の検討(審議)
- ・中長期的な課題について(審議)

●第6回(令和6年2月予定)

●第7回(令和6年3月予定)

- ・早期に検討すべき短期的な課題の検討・方針とりまとめ
- ・中長期的な課題の検討の進め方の確認・検討

〔 令和6年4月～

中長期的な課題の検討のためのアンケート・ヒアリング等の実施

●第8回以降

- ・中長期的な課題の検討

○R6年度内 最終とりまとめ